

中学生・高校生のための学習コラム

中学・高校生活を楽し々トップグループで過ごすためのヒントをご紹介します。

中高一貫校完全攻略ガイド

皆さんこんにちは！

中学受験専門個別指導教室のSS-1です。

中学受験が終わった皆さんは、新しい生活に向けて準備を始められていることと思います。

中学では数学という、算数とはまた違った力が求められる新しい学問がスタートします。

また英語も、小学校でやってきたのとは違って、レベルも量も本格的なものになっていきます。

そこで、他の子よりも早くスタートをきって、余裕をもって新学期を迎えようという人も多いことでしょう。

そんな皆さんのために中学高校での学習を上手に楽しく攻略して、次の入学試験である「大学入試」で、合格を勝ち取るまでの方法をこっそりお教えしちゃいます。しっかりと読んで、攻略法を知らない友達に差をつけてしまいましょう！

【目次】

攻略法 其の一 入学する学校のことを知ろう

攻略法 其の二 入学までの目標を決める

攻略法 其の三 先輩たちのノウハウを徹底的に利用する

攻略法 其の一 入学する学校のことを知ろう

まずは、あなたと同じように中学入試まで一所懸命に勉強して、あなたより何年かだけ早く中学校に入学した先輩たちが教えてくれた、貴重な情報を包み隠さずそのままお渡しします。

個別指導教室 SS-1 からは、毎年多くの生徒が中学校へと進学しています。

その中には、あなたが通うことになった学校の先輩もいることでしょう。

そんな彼ら、彼女たちに、実際に入学してみたらどんな学校だったか、その中で上手に学習サイクルを作り、成績を上げていくにはどうしたらいいのかを聞いてみました。

先輩たちが経験したことです。きつとこれからあなたが経験する学校生活の役に立つと思います。

勉強のペースは速いのか、遅いのか、どんなテキストを使っているのか、校風は自由なのか、厳しいのか、面倒見がいいのか、宿題は多いのか、などなど・・・。

実際に通ってみなければわからない各学校の特徴と、その学校で実際に優秀な成績を修めてきた方法を知り、あなたが同じ学校で上手くよい成績を出すための、道しるべにしてくださいね！

関東エリア：[開成中](#) / [麻布中](#) / [世田谷学園中](#) / [芝中](#) / [本郷中](#)
/ [都市大付属中](#) / [桜蔭中](#)
[洗足学園中](#) / [青山学院中](#) / [共立女子中](#) / [香蘭中](#) / [慶應中等部](#)

/ 市川中

関西エリア：灘中 / 洛南高等学校附属中 / 甲陽学院中 / 神戸女学院中 / 東大寺学園中
四天王寺中 / 清風南海中 / 六甲中 / 帝塚山中 / 大阪桐蔭中 / 清風中 / 大阪星光学院中

関東エリア

開成中

- 数学、英語ともにオリジナルのプリント類を使用して授業が進められる。
- 最難関のイメージに比べると進度はそれほど速くない。ただし授業以外のフォローを学校としてはほとんど行わないので、生徒の学習姿勢が問われる。先に進めるよりも、自発的に1つ1つのことを深く掘り下げて理解する学習を行うことが求められている。
- 運動会では、「パワーガード」と呼ばれるプロテクターを付けるのが名物。競技の激しさに驚く新入生も多い。
- 中1の初期から鉄緑会を筆頭に、グノーブル、SEG、Z会東大コースなどに通塾する生徒も目立つ一方、高校2年生まで塾や予備校を使わずに東大を目指す生徒もいる。

麻布中

- 数学はオリジナルのプリント類を使用して授業が進められる。理論的な部分に重きが置かれており、高校レベルまで踏み込むことも多い一方で、問題の解き方指導に関してはやや手薄であり宿題も決して多いとはいえない。しかし定期考査では、中学

レベルのオーソドックスな問題が中心となるため、演習による定着学習を自分でできちんと補った人が高得点を取るようになっている。

- 自由な校風通り、学習についても学校側から細かい指示、指導がなされることはない。

生徒からの質問には丁寧に対応するが、教師から強制することはないスタイル。向学心、自律力を持っている生徒は授業の力によって伸びていくが、勉強不足で低迷する生徒も多い。

世田谷学園中

- 自主自立を目指す教育方針を取っており、中1の段階から様々な学校運営について生徒自身に考えさせる機会を与えている。
- 作文、レポートを書かせることが多く、論文作成力を伸ばす教育になっている。大学受験にもつながる指導である一方、書くことが苦手な子は負担に感じることもある。
- 大学合格実績は、その多くを特進クラスが担っている。合格発表後にあらためてクラス分けテストが実施され、入試とクラス分けテストの合計成績によってクラスが決定される。

芝中

- 各教科ともに、非常に面倒見がよいのが特徴。進度は速いが、毎回実施される小テストや確認テストを怠らずに続けていれば、自然と定期考査でも得点できるカリキュラムになっている。
- 進度自体は速いので、入学までに予習型の学習週間をつけておかないと、5月頃までに一気に置いていかれる可能性があるため注意が必要。
- 英語では教科書に“Birdland”を用い、中2までに学習指導要領における中3内容までを修了させる。授業ごとに単語テストが実施され、週に30個以上の単語を覚えることが求められる。

本郷中

- 中1時点では、名物でもある英語学習の分量が膨大。
入学段階で、Z会の“New Treasure”の冒頭に掲載されている頻出単語を暗記していることを求められ、入学直後にテストが実施される。
- 入学後も、ノート作りと提出が徹底して求められるため、週の学習のうち多くの割合を英語に充てる必要が出てくる。
この時点で根負けすると、一気に置いていかれるので、入学前に予習型学習のスタイルを身につけた上で、一学期の内容を概ね理解してから臨むとよい。
- 学校独自の数検などを実施し、生徒が学ぶことに意欲を持つよう、よく工夫されている。

都市大付属中

- 英語は、文法授業の進度が早い。基礎英語も課題とされており、定期テストへの出題もある。テキストは“New Treasure”。本人の努力に任せられるところも多く、演習とノート作りを家できちんと行う習慣の有無が成績に直結する。
- 数学は、かなりレベルの高い授業をハイスピードで行なっている。Ⅱ類は特に速い。
代数は、1年間でする単元を2学期までに終え、3学期は、Z会のアドバンストの過去問などを使って授業が行われる場合もある。幾何は、スピードはそう早くないが、内容は難しく、採点も厳しい。
- 他の授業、例えば地学などは、独自色の強い内容なので、市販の問題集をするよりも、学校で配られたプリント、及び学校の授業の板書など、学校の授業に合わせた対策をすることが必要。

桜蔭中

- 数学は「体系数学」を使用。特に難しい内容を扱うことはないが、代数、幾何とも1年生は週2回ずつ授業が行われるため、ペースが速い。また途中過程や証明などの書き方についてはかなり厳しい指導が行われている。
- 英語は毎日「基礎英語」を聞くことが課せられており、それも試験の範囲になる。
- どの科目も特別なことはしないが、やや高度な内容までを確実に身につけることが求められている。

洗足学園中

- 英語は“New Treasure”を使用。単語練習、教科書転記等の地道な宿題が多めに課せられ、宿題をこなしていく限り、進度の速さの割には手堅く理解していくことが可能な設計になっている。
- 国語はテキストとして学校が特別に用意する「洗足国語」が使用されている。中1の段階で古文の導入として百人一首も扱われる。
- 社会は、最初に市民革命を扱い、その後基本的人権を扱うという、筋の通った、しかし独特の設計がなされている。内容も相当深いので、授業中の先生の発言をノートに積極的に記録していく力が必須となる。

青山学院中

- 英語のテキストは学校が特別に用意した“SeedBook”。初等部から進学する生徒は小学課程で英語を本格的に学んでいるが、中学から合流する生徒が高いレベルの英語力を身に着けるためには、学校カリキュラム以上の学習が必要となる場合がある。
- 社会は歴史と地理が、理科は生物と化学が、それぞれ初年度か

ら並行して進められる。教科書を超えた内容も豊富であるため、授業で先生が話したことをノートにまとめて、それをもとに学習する技術を身につけることが、中間期末の得点を高いレベルで維持するカギになる。

共立女子中

- 進度がかかなり速く宿題も多い。中学 3 年間で高校 2 年生レベルの内容まで到達させる。入学前に中学の学習スタイルを練習しておくことで、学習サイクルを整える力を養っておきたい。
- 英語、数学に特に力を入れている。英語のテキストは“New Treasure”、数学のテキストは「体系数学」。確認テストで合格点が取れない場合は、補講と追試が実施される。合格点が取れるまで追試を繰り返す徹底ぶりが特徴的。
- 中学入学後すぐに英検 4 級、3 級と受検するので、入学前にある程度英語に触れておくことが望ましい。

香蘭中

- 入学からのペースは速くないが、入学者の多くが立教大学への指定校推薦（あるいはそれ以上）を目指すことを目的としていることもあり、一学期の中間・期末テストは高得点勝負となる。
- 英語の授業は“New Crown”を用いて主に文法を学ぶ「フルクラス」と、リスニングや会話を中心に学ぶ「ハーフクラス」の 2 本立てで進む。NHK の基礎英語を聞くことも求められ、テストでもそこから 30 点ほどの比重で出題されるため、準備が必要。
- 数学は、代数・幾何を並行して進めることが特徴。教材は独自のもので、代数は標準的なテキストだが、幾何はやや難しい。進度は速くはないが、作図の作業などに慣れるためにまとまった時間を確保する必要があり、入学前の準備が有効になる。ま

た幾何はノートの提出がないので、自分でスケジュールをたてて、問題集を進めていく必要がある。

慶應中等部

- 各教科共に、入学からじっくりと基礎を固めていくためペースは遅いが、その分定期考査の平均点が高くなりがちのため、「ミスをしないうための勉強」が必須になる。
- 特に英語は、アルファベットの正しい書き方など、作法を非常に重視する傾向がある。
- 慶應幼稚舎から進学してくる生徒の中には、非常に高い学力や語学力、コミュニケーション能力を持ったお子さんも少なくないため、入学準備の段階で自分なりの武器や魅力を磨いた上で学校生活をスタートさせると交友関係も広がりやすく、楽しい日々を過ごせる。

市川中

- 授業の進度は速いが、小テストが頻繁に行われるため、定着度のチェックができる。
- 毎月月例テストが実施されるので、定期考査のない月も緊張感を途切れさせずに学習できる。英語は「ボキャブラリーコンテスト」と銘打って単語テストが行われる。
- 英語の主教材は「トレジャー」、数学は「体系数学」を採用している。NHKのラジオ講座も必修で定期考査の対象にもなっている。
- 保護者の意見へ積極的に耳を傾ける学校姿勢があり、テストでの成績下位者に対してはこまめに補講を実施している。

関西エリア

灘中

- 最上位層は中2冬には大学入試センター試験数学で9割以上とる実力を持つ。
英語でも8割程度とる子なら、ある程度いる。
- 英語ではラジオ講座「基礎英語」も定期テスト範囲に入ってくる。
科目を問わず、定期考査で高得点をとるには与えられたものを一通りこなす姿勢が必要。
- 定期考査一回あたりの課題量が膨大であり、図抜けた記憶力と処理力を持っている子以外は、日ごろからの学習を怠ると一気に置いていかれる。
- 中1から塾に通う子も多い。情報通で科目ごとに塾を使い分ける傾向がある。

洛南高等学校附属中

- 学年団によって違いはあるが、入学時にノートの取り方、授業の受け方などを詳しく説明した冊子が配布される。
- 「スパルタ」のイメージがあるが実際はそれほど厳しくない。
- 自主自立を目指す教育方針を取っており、中1の段階から様々な学校運営について生徒自身に考えさせる機会を与えている。
- 中1の時点から上下差がかなりつく傾向にある。勉強するグループ（上位30名ほど）は学校内容を消化した上で、塾もしくは自学により先取り学習を行っている。
近年では先取り学習自体を学校から宿題として指定される。
- 数学では「プライム」が使用され、テストでそのまま出題されることがある。
- 学校の指導で基礎を固めるのでセンター試験に強い。

逆に中学段階で学校内容をおろそかにすると、かなり苦しい高校生活となる。

- 予習型で長期休暇中には次回内容の予習を進めるという課題が出る。

甲陽学院中

- こまめに試験があり、学習の進捗を試される。
- 学校の宿題量が膨大で、入学後に先取り学習を進めることはかなり難しい。
- 先取り学習としては、できれば2年の途中ぐらいまでの範囲を入学前に進めておきたい。
- 中学の間はものすごくハードだが、高校に入ると学院生活は自由度を増す。

神戸女学院中

- 英語の授業では、ある程度の基本英会話はできるという前提で進められる。
中1程度の内容は入学までにマスターしておくのが無難。
- 数学の場合は、少なくとも新中学問題集1年終了、できれば2年の途中ぐらいまでは進めておきたい。
- 数学は中1で一般の中2範囲、中2の1学期に中3範囲終了というペースなので、春休み終了までに幾何の証明問題について少し練習しておくことが望ましい。

東大寺学園中

- 伝統校らしく、自主性を重んじる方針になっているため、宿題もそれほど多く出されていない。そのため、中1から塾に通う子が多くなっている。
ただ、先生によってはかなり手厚く進められる場合もあり、レ

ベルの高い内容を並行して進めている。

- 数学では「プライム」をメインとして使用しているが、「新Aクラス問題集」も家庭学習用として使用され、長期休暇中は「体系問題集」が使用される。
- 古典では「体系古典文法」を使用し、和歌の解釈など発展的な内容もあり、教材演習だけでなく、授業内容の十分な聞き取りが必要。
- 理科・社会の授業では、学校の先生オリジナルの内容で進められ、教科書や副教材だけでテスト対策は難しく、板書や授業での先生の発言を聞き取り、ノートに残すことが最低限要求される。

四天王寺中

- 英語では「New Crown」・「シリウス」・「新中学問題集」を使用。
クラス構成が変動していることもあって、指導方針にやや変化があるが、全体的には生徒任せの面がある。入学前に新中学問題集1年を終了させておくにととても楽。
- 長期休みは宿題がかなり多く出される。
- 社会の授業ではプリント中心で、高校世界史・地理の内容も含まれており、教科書の扱い方にも注意が必要。社会の学習方法について入学前に準備を進めておくことが重要。

清風南海中

- 英語の学習は
英語 A : 「ONE WORLD」を使用し、日常会話中心の本文を基に単語や各文法事項を指導。単語テストは定期的に行われる（先生の板書中心で授業が行われ、文法事項を中心としたプリント配布などはなし）、

英語 B : 外国人講師が担当、コミュニケーション用教材を使用し、英語での会話やゲームを通して実用英語の上達を目的とする(板書は基本的にはなく、教材への書き込みが中心になる)

- 英語 A・B 共に日常会話を中心としているので、校外模試などに対応できるのか、また「新中学問題集 発展編」を使用しなくなったことで、基礎文法の定着が心配される。
- 数学では体系問題集発展編を使用。テスト内容は難易度の高い問題が出題されるが、平均点は高い。理科は実力練成テキスト＋ノート(板書内容)から出題されることが多い。

六甲中

- 数学は「体系数学」を使用。
特に難しい内容を扱うことはないが、代数、幾何ともにペースが速い。また途中過程や証明などの書き方についてはかなり厳しい指導が行われている。
- 理科については1学期より元素記号を学習するなど、扱う内容が高度になっている。
- 規律厳しいイメージだが、学習に関しては生徒の自主性を重んじているので、上下差がつく傾向がある。

帝塚山中

- 英語、数学に特に力を入れている。
確認テストで合格点が取れない場合は、補講と追試が実施される。
合格点が取れるまで追試を繰り返す徹底ぶりが特徴。
ベネッセやZ会の外部模試も年2～3回実施され、高校では夏休みなどに河合塾の講師による講座も開講するなど、大学受験にもかなり力を入れている。
- 中学入学後すぐに英検4級、3級と受検するので、入学前にあ

る程度英語に触れておくことが望ましい。

- 英語では「New Treasure」を使用。

大阪桐蔭中

- 進度がかなり速く宿題も多い。
中学3年間で高校2年生レベルの内容まで到達させる。
入学前に中学の学習スタイルを練習しておくことで、学習サイクルを整える力を養っておきたい。
- 英語、数学、古文に特に力を入れている。(英語は音声学習や会話にも)
確認テストで合格点が取れない場合は、追試が実施される。
- 学習計画表(シラバス)が毎年配布されるので、各学期に行うカリキュラムを先に把握しやすいことが特徴。
- 定期テスト科目は5教科12科目となっており、テスト前の準備を早めの段階から行っておく必要がある。
- 模試、検定試験(英検、数検)、定期テストと試験の回数も多い。
宿題、試験対策プリントと莫大な課題をどのようにセレクトしてこなすかがポイント。

清風中

- 数学ではいち早くシステム数学を取り入れるなど、理Ⅲプレミアム、理Ⅲクラスでは大学受験に対する意識が高まってきている。
- クラス替えも行われるので、学校での成績を上げていき、上位クラスに所属することが大学受験成功へのポイントになる。
- 英語では「New Crown」を使用。数年前より文法中心から読解中心にシフト。
- 理科では「新中学問題集」を使用。テスト内容は担当の先生により異なる。

- クラブ活動も盛んで、中1生の90%以上がクラブに加入している。

大阪星光学院中

- 英語では「New Treasure」を使用。数学では「アドバンスト」を使用。
- 学年団により内容、教科バランスの差が激しい。昔のような放任ということではなく、数学など宿題も多い。
- 中2頃から実力テストにセンター試験の過去問も入ってくる。
- 中学校舎に隣接している「聖トマス小崎研修館」や「南部学舎」（和歌山県）や「黒姫星光山荘」（長野県）などで合宿が多いことも特徴。

攻略法 其の二 入学までの目標を決める

あなたが中学受験の時にそうしたように、なにか目標を定めないと、普通に生活する人間なら、「何をしたいのかサッパリわからない」という状態になるのがあたりまえです。

中学受験が終わったばかりで、「さあ次は大学受験だ！」なんて・・・6年後ですから。

全然イメージがわからないのが普通ですし、「今がんばろう」という気持ちにはならないですよ。

SS-1に通って見事に志望大学に現役合格を果たした先輩たちも、そうでした。

東京大学の文科I類に首席で合格したI君も、京都大学医学部に合格したN君も、中1の時から「〇〇大学に合格するぞ！」なん

て思っていたわけではありません。

彼らも6年先のことなんて全然イメージがわいていなかったんです。

ただ、彼らのように、中学・高校と充実した学校生活を満喫し、大学合格もバシッと決めてくる子たちには共通点がありました。

それは、中1の時から、

「1ヶ月先、2ヶ月先の近い目標を決めて、その目標を達成することにチャレンジしてきた」ということです。

「クラスで3位に入るぞ」とか、「英語で90点取るぞ」とか、「50m走で◇◇に勝つぞ」という風に。

近い目標を決めてそれを達成する、ということを繰り返していると、成績は自然とクラスの上位になりますし、高校生になった時に志望大学への合格ロードも見えてくるのです。

ですから、

自分の通う中学のことを知ったあなたが次にすべきことは、「2ヶ月先を見ること」

つまり、中学入学までに何を達成するのか、目標を定めることです。

先輩たちのアドバイスをみて決めてもいいし、お父さんお母さんと相談して決めても構いません。

ちなみに、SS-1のおすすめする目標設定はわかりやすく、「入学段階で学年上位」です。

一つの例として、A中学に入学したBくんのことをお話します。

Bくんは、A 中学に合格した後、とっても嬉しい気持ちが2週間続きました。

そしてその後に、急に不安でたまらなくなりました。というのは、A 中学に合格するまでの道のりは決して順調だったわけではなく、最後の3ヶ月の伸びでそれこそ滑り込むように合格したからです。

彼の気持ちの中には、「合格したけれどきっと順位は下の方に決まっているし・・・」という小さな不安があったようなのです。

それが、制服採寸や入学の色々な手続きを済ませ、制服を受け取った時に、「自分はA 中学に入学するんだ」という実感がわいてきたのですね。

すると急に「本当にA 中学の勉強についていけるのかな、僕」という思いが膨らんできたそうです。

せっかく志望校に合格したのに、下位のままずっと6年間を過ごすんだらうか・・・

「そんなの嫌だ！」という気持ちがBくんの中にも、もちろんお母さんの気持ちの中にも強く意識されてきました。

そんなBくんの不安を聞いたSS-1では、入学までに一気にBくんの成績を伸ばし、さらにテストで高得点を取っていけるように、対策を打つことを提案しました。

Bくんの目標は、「入学段階で成績上位」に決定したのです。

B くん の 目標 を 達成 する ため に SS-1 で 立て た 具体 的 な 学 習 計 画 は、

- 中学受験までの勉強を、中学以降の勉強へと切り替えるための「教科知識」
「学習技術」を身につけ、モチベーションを保つ方法も身につける。
- 一学期の中間テストで結果を出すための計画として、第一段階を3月末、
第二段階を5月末に完成させる、大きく2期に分けた計画を立てる。
- 授業内容の習得状況は、毎回の授業時に小テストを実施することで確認する。
- 1 単元終了時には定着度確認テストを行う。
- 生活習慣を、誰かに言われてやるのではなく自発的に行えるよう、スケジュールリングの練習も行う。
- 時間割をもらったらすぐに、曜日毎の家庭学習計画の立て方、クラブ活動への関わり方を考慮して、一週間の過ごし方を決める。

といったものでした。

その結果、B くん が 得 た 結果 は…

**中間テストでクラスの真ん中あたり、
そして期末テストでは、クラス上位 10 位に！**

すばらしいですね！

先生たちも B くん の成績を教えてもらったとき本当に喜んでいました！

特に注目したい点は、B くん自身が常に**次の目標をその場で設定する習慣**が身につけていることです。自らの力でモチベーションを創り出しているのですね！

B くんは入学後も目標を持ち続けてずっと結果を出し続けています。

勉強だけでなく、クラブ活動では大好きな野球に打ち込んで、毎日を満喫しています。

あなたも、これから 6 年間通う学校のことを良く知ったら、すぐに**入学式までに何をするのか？**という目標を設定してみてください！何も考えず、何の目標も持たずに漫然と過ごしても、ワクワクするようなことは起きません。

入試が終わって息抜きの時間を取るのは、長くても 1 週間。

目標を設定することの大切さを知っているだけで、知らない子との差が既に大きくついていることを知っておいてくださいね！

攻略法 其の三 先輩たちのノウハウを徹底的に利用する

目標設定ができればあとはどのように生活し、学ぶのかを設計をし、実行に移すのみですね！

SS-1 では、毎年巣立っていく先輩たちから教えてもらった、中学

校に入ってから結果を出し続けるノウハウを研究し、その成果を新中学生向け講座の中で活かしてきました。

これまで、中学受験を終えた先輩たちに伝え、結果に繋がったノウハウは

- 定期考査で高得点を取る技術
- モチベーションを高める技術
- 成績が取れる授業の受け方を知る
- 中間考査の範囲を入学前にマスターすること
- 定期考査の対策を実行し、テスト後の検証まで行うこと

の5つです。

それぞれのノウハウについて説明すると、

定期考査で高得点を取る技術

どの中学校でも、トップクラスの生徒は定期考査で 100 点や 95 点を取ってきます。

しかも全科目で高得点をそろえてくるのです。ただ「頭がいい」だけでは取れません。

トップ 10%の生徒が持つ力、それは・・・**<減点されない採点者基準の答案を作る力>**です。

モチベーションを高める技術

中学入試に向けて走ってきた受験生は、入試を終えて「ほっ」と気持ちが緩みます。

ここで一度緩めることで、中学生として新たな一歩を踏み出す意

欲がわいてきて、**自分のことを自分でやれる段階へ**向かい始めるのです。

ただ、緩みっぱなしでは困りますね。かといって、大学受験という目標は遠すぎます。

ポイントは、上手くいっている自分の近未来像をイメージすること。

その方法を効果的に身につける方法は、客観的な第三者による**<学習モチベーションを高めるコーチング>**です。

成績が取れる授業の受け方を知る

中学受験生と中学生とで最も大きく異なるのが、授業の受け方です。

塾では、ただ黒板をノートに写すだけでポイントが分かるようになっていました。

授業と宿題とで与えられた問題を解いて、覚えていけば、テストで点数が取れました。しかし中学校では、教科書・プリント・先生の口頭解説を中心に、それを補助するものとして板書が位置づけられています。

トップ 10%の生徒がどの科目でも高得点を取る秘密、それは…
単なる板書記録 ⇒ 授業記録へと進化したノート作り+テストの出題予測による**<得点に直結する受講技術>**です。

中間考査の範囲を入学前にマスターすること

中学入学後の一カ月はクラスメートと打ち解けたり、クラブを選択したり、新しい生活サイクルを作っていくことであっという間に過ぎてしまいます。そして中間考査がすぐ目の前に。

中間考査でとった順位は、その後も「自分の位置はこの辺り」という意識として残ります。

つまり重要なことは、**<中間考査でトップ 10%にいて当たり前と**

言うマインドを確立>すること。

中間考査の対策を実行し、テスト後の検証まで行うこと

中間考査の対策は8月末まで続きます。

テスト前の対策を万全に行い、またテスト後の検証を実行することで好成績を出し続ける学習方法を完璧に身につけることが重要です。学習も一つのプロジェクトです。

仮説(Plan) ⇒ 実行(Do) ⇒ 検証(Check) ⇒ 修正(Action)

で進んでいくのです。

つまり中学生生活の学習で重要なことは、**<学習における PDCA サイクルを身につける>**ことです。

いかがですか？

これらのノウハウを知っていただき、実行していただくことで、これから6年間の中学、高校生活を上手に楽しく、結果を出しながら過ごせることと思います。

あなたは今日まで、本当にしっかりと受験のための学問を学んで、ついに目標としてきた中学への入学を果たしたのです。

そして、これからあなたが中学、高校、そして大学で学ぶことのできる「学問」は本当に面白く、あなたの人生を豊かなものにしてくれる力を持っています。

定期テストのたびに成績に一喜一憂するのではなく、楽しく学んだ結果、当然のように良い成績をとることができれば、あなたの6年間は実に充実したものとなるでしょう。

あなたの人生の成功を心から願っています！